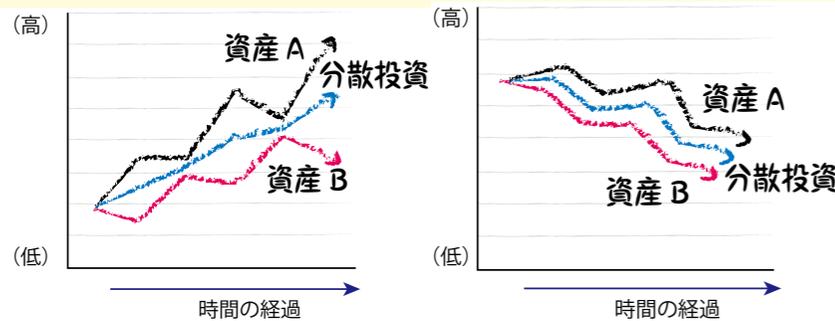


# Lesson1 投資商品を分散する

次のテストにチャレンジ! (○それとも×?)

- ① 元本保証型の金融商品は将来にわたって安全確実
- ② 利率の高い金融商品は儲かるので、利率の高いものだけで運用したほうがよい
- ③ ローリスク (結果のブレが小さい)・ハイリターン (高収益) 商品もある
- ④ 「コモディティ」とは、商品先物取引で取引されている商品のことである
- ⑤ 経済危機や戦争などトラブルが起こったときに金が買われやすく「有事の金」と呼ぶ



分散投資をすることで、リスク (ブレ) を小さくする効果があります

ひとつの金融商品だけに集中すると、何か異変が起きたときに価値が一気に減少してしまう危険性があります。状況に応じて、資産の分散を考えることは、これからの時代に重要となってくるでしょう。  
よって、①②③の答えは×、④と⑤は○



## ＝解説＝

### リスクとリターン

金融商品での「リスク」とは「危険」という意味ではなく、「ブレ」の大きさのことを言います。たとえば、1万円を運用し、将来1万3千円になるかもしれないけど7千円になるかもしれない。このプラスマイナスの大きさのことを指します。儲かる可能性の高い商品はそれだけリスクも高くなります。リスクが低くリターン (儲け) が高いという商品は決してありませんので、金融詐欺には注意しましょう。

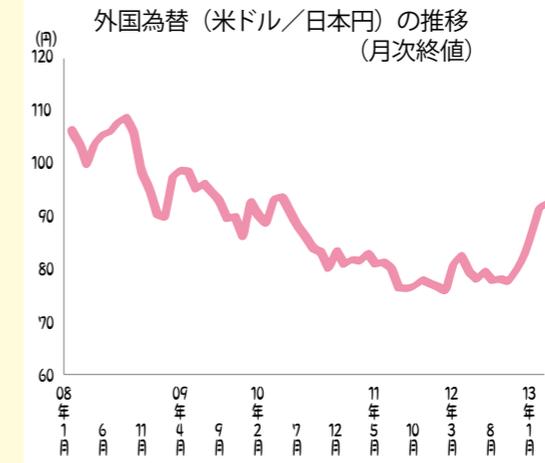
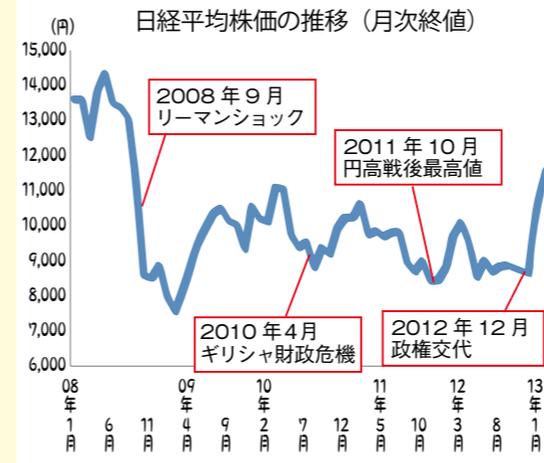
### インフレによる価値の目減り

元本保証の運用は、元本が減ることはありませんが金利は低い傾向です。今後物価上昇が金利より高くなると、元本は保証されてもそのお金の価値は減ってしまいます。

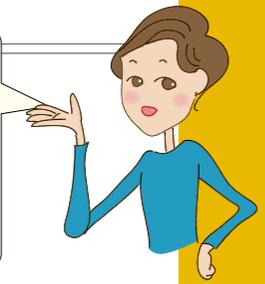
### 金利が付かない「実物資産」

コモディティとは「商品」のことで、投資対象としては、原油、ガス、金・銀・プラチナ、小麦・大豆・とうもろこし、などいろいろとあります。これらへの投資は「金利」は付きません。商品価格の上下によって収益が出る仕組みです。個人投資家では扱えないものもあり、個人で購入したい場合は投資信託などを活用します。コモディティは「インフレに強い」という傾向ですが、ハイリスク商品です。金融危機の際には、金価格が驚くほど上昇しました。

## 変動するお金の価値



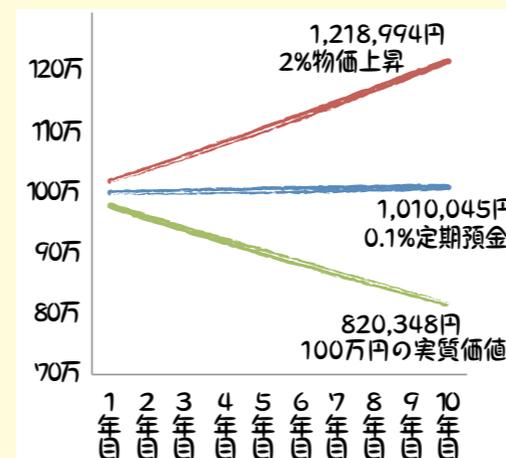
この4年ちょっとの間でも、かなりの動きがあるんですね。日本国内だけでなく、世界中の出来事が影響していることがよくわかります



政権交代後、停滞していた金融マーケットにも動きがでてきました。しかし、懸念されるアメリカやヨーロッパの事情もまだまだ波があるようです。「インフレが起きたらどうなるの?」「でも、また経済が悪化したら?」さまざまな不安のある中で、100%安全なお金の行き場はありません。これからどう考えたらいいのか、今回は「分散投資」を勉強してみましょう。

※本原稿は2013年4月時点のものであり、市場の変化にご留意ください。

## インフレが起きると?



※税金は考慮していません

たとえば、100円で買っていた食パンは、インフレが起こると100円ではもう買えなくなるのですね。100円は変わらないのに、その価値が低くなってしまいうという「リスク」がインフレ時には起こります

100万円を10年間定期預金(0.1%複利)で運用した場合と毎年2%のインフレが起こった場合の10年後100万円の価値



シニアのためのマネーレッスン  
これからのお金は『分散投資』?